安全上のご注意

商品を安全にご使用いただくために、必ず守っていただきたい事項です。
個々の商品の注意事項は、各商品の説明ページにも記載されていますので、
併せてご確認ください。

窓についての注意事項

⚠警告

[強制]
窓の開閉に異常を感じた場合は、使用を中止し、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室にお問い合わせください。
そのまま使用を続けると、窓の脱落や、突然窓が下がり指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

[強制]
内窓をご使用の際は、適度に換気を行ってください。
特に、ガスや石油機器をご使用になる場合は、必ず換気を行ってください。
内窓を設置すると、気密性が高まり、空気が滞留するため、締め切った状態でご使用になると、一酸化中毒など、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

[強制]
はずれ止めが正しくセットされていることを確認してください。
はずれ止めが正しくセットされていないと、窓がはずれて落下し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

[強制]
引違い窓やFIX 窓は定期的に点検し、窓上部に赤色表示が見えないことを確認してください。
赤色表示が見える場合、上枠に対して窓のかかりが浅いため、窓が脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

[禁止]
窓にぶつかったり、寄りかかったり、無理な力をかけたりしないでください。
窓の破損や落下により、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

[禁止]
ハンドルなどにぶらさがって遊ばないでください。
ハンドルなどが破損し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。

[強制]
窓の表面や金属部分は、直射日光で熱くなることがあります。
やけどなどしないようご注意ください。

お願い

必ず外窓を閉めて施錠したうえで、内窓を閉めてください。
外窓を開けたまま内窓を閉めると、雨水の浸入や、風圧などにより内窓が変形したり、破損したりするおそれがあります。

マンションなどの高層階では、強風時には必ず外窓を閉めて内窓を少し開けてください。
強風により住戸内外に圧力差が生じた場合、内窓が変形したり、破損したりするおそれがあります。
長期不在時も同様に、外窓を閉めて内窓を少し開けてください。

窓の近くを通る時は、開いている窓や部品にぶつからないようご注意ください。
窓の破損につながるおそれがあります。

外出や就寝の際は、必ず窓を閉め、確実にロックしてください。
ロック後、窓が開かないことを確認してください。

窓の開閉時の注意事項

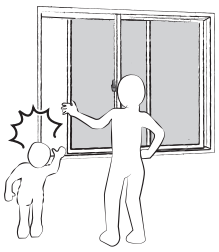
⚠注意

窓　スライド系（引違い窓）

[強制]

周囲に人がいないことを確認

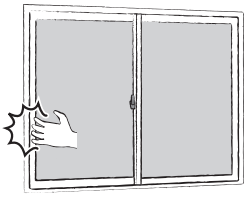
窓の開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。窓が人にぶつかったり、窓で指をはさんだり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

窓と枠、窓と窓のすき間に注意

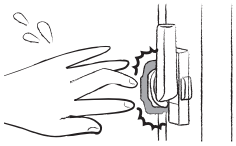
窓の開閉時に、窓と枠、窓と窓のすき間に手や足を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

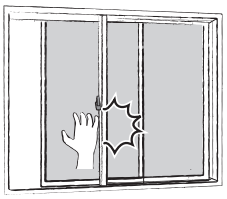
部品のすき間に注意

窓の操作部品や、可動部品のすき間に手や足を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[強制]

窓の開閉はゆっくり静かに行ってください。
勢いよく開閉すると、部品の破損や指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



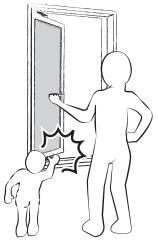
⚠注意

窓　スイング系（内開き窓・開き窓テラス）

[強制]

周囲に人がいないことを確認

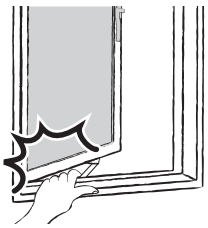
窓の開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。窓が人にぶつかったり、窓で指をはさんだり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

窓と枠のすき間に注意

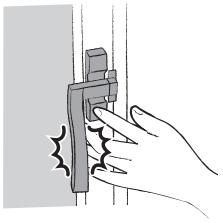
窓の開閉時に、窓と枠のすき間に手や足を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

部品のすき間に注意

窓の操作部品や、可動部品のすき間に手を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ハンドル以外の部位を持って開閉しない

窓の開閉は、必ずハンドルを持ってゆっくり操作してください。
ハンドル以外の部位を持って開閉すると、指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



お願い

窓の開閉時に、誤って室外に転落しないようご注意ください。

窓の開閉はゆっくり静かに行ってください。
無理な操作や誤った操作、また衝撃のあるような（乱暴な）開閉をすると、窓を破損するおそれがあります。

窓の調整・お手入れ時の注意事項

⚠警告


[禁止]

はずしたネジは放置しないでください。
そのままネジを放置すると、小さなお子様が飲み込み、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

⚠注意


[強制]

お手入れなどで、窓をはずして再び取り付ける際は、必ずはずれ止めをセットしてください。
正しくセットされていないと、窓がはずれて落下し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。


[強制]

周囲に人がいないことを確認し、安全に十分注意して行ってください。
窓にぶつかり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。


[強制]

お手入れの際、窓の端部や部品の角にご注意ください。
指や手を切ったり、はさんだり、巻き込まれたりするなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

お手入れ時に、誤って室外に転落しないようご注意ください。

不安定な台の上などで作業を行わないでください。

調整・お手入れ時に、誤って窓を倒したり、落下させたりしないようご注意ください。

指定されたネジ以外は絶対にはずさないでください。
万一、はずしてしまった場合は、すぐにネジを付けてください。

ご使用にあたって

商品を長く正常な状態でご使用いただくために、日常生活の中で気をつけていただきたい事項です。

●窓の点検について

長期間、窓をご使用になると、ネジのゆるみが発生することがあります。お手入れの際、商品のネジ部品がはずれたり、ゆるんだりしていないことを点検してください。
（「第６章　保守点検」）

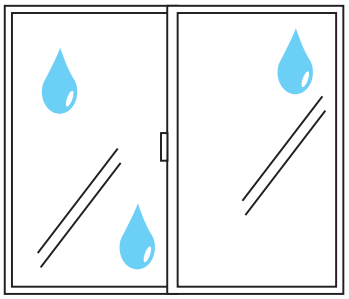
知っていただきたい現象

日常生活の中で『何かおかしいな…』と感じることがある現象も、窓の不具合ではなく、商品の特性に関連して発生する場合があります。

ここでは発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明しています。

結露について

結露は、室内外の温度差が大きく室内の湿度が高い場合、季節を問わず発生します。
これは自然現象のひとつであり、窓の不具合ではありません。
また、室内の環境状況によっては、断熱窓を使用していても発生する場合があります。
完全になくすことはできませんが、できるだけ発生を抑える方法として下記の点を心がけてください。



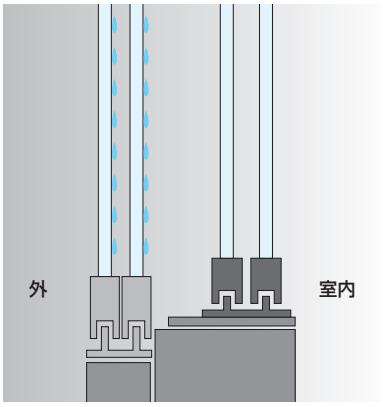
① 過度な加湿の防止（上限 60%）
② 換気の促進
③ 室温は適温に保つ
④ 空気の流れをよくする

『脱・結露のススメ』というパンフレットをご用意しております。
ご要望の方は当社お客様相談室までご連絡ください。（ 0120-20-4134）

外窓（既設サッシ）の結露について

内窓を付けても、外窓（既設サッシ）に結露が発生することがあります。
内窓の防露性は、内窓の結露を大きく減少させる効果がありますが、外窓（既設サッシ）への結露が発生しやすい条件もあわせもっています。室内の暖かい熱が内窓に遮断されるため、外部に熱が伝わりにくく、外窓（既設サッシ）の表面温度が下がるなど、結露が発生しやすい条件になるためです。

※結露は自然現象として季節を問わず発生するものであり、窓の不具合ではありません。



既設サッシ+**ウチリモ**

内窓と外窓の間の温度上昇について

内窓と外窓を長時間閉めた状態にしておくと、外部環境によっては内窓と外窓の間の空間が高温になる場合があります。少し開けて換気を行ってください。

※内窓と外窓の間の空間が高温になることで起こりうる現象
① 樹脂形材の変形・収縮
② 樹脂形材の変色（熱+ 直射日光による）
③ ガラスの熱割れ（特に外窓が網入りガラスの場合）

ガラスの熱割れについて

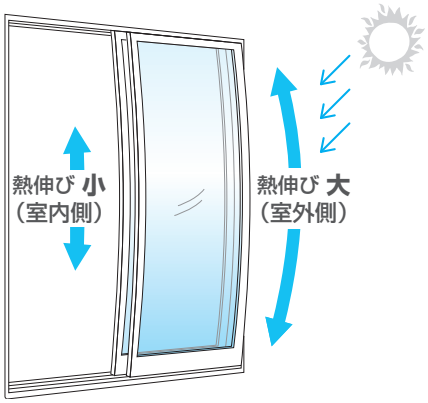
ガラスは熱によって膨張する性質を持っているため、直接日射を受ける部分と窓枠などの中に隠れている部分とで、温度の差による熱膨張差が生じます。
この熱膨張差がガラスの持っている「強度」を超えた場合、ガラスが割れます。
これが網入りガラスに多く見られる「熱割れ」と呼ばれる現象です。
ガラスに割れが発生した場合、すみやかに交換してください。

熱割れを予防するポイント

- ガラス面にカーテンやブラインドを密着させない。
- 暖房・冷房の温風・冷風をガラスに直接当てない。
- ガラス面に紙を貼ったり、ペンキを塗ったりしない。
- 室内に熱だまりをつくらない。

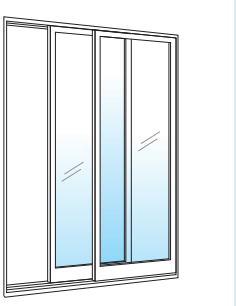
真空ガラスの熱反りについて

真空ガラスは室内外の温度を伝えにくい構造になっているため、日差しや室内外の温度差により、ガラス本体室外側の面と、室内側の面で伸びる量に差が生じます。これにより、反りが発生する場合があります。
また立地条件、ひさしの形状により反り量は一定ではありません。一時的な現象であり、ガラス本体の室外側と室内側の表面温度差が小さくなると元に戻ります。
特に、内外の窓が同じ位置で重なり合う状態では、窓の間に熱がたまり、異常な高温状態となる場合があります。

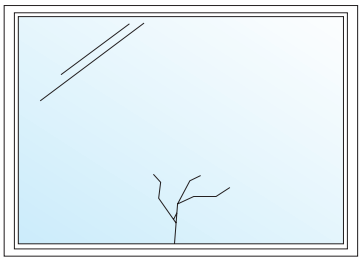


熱反りを予防するポイント

- 日中、引違い窓等を開け放して使う際は、２枚の窓が完全に重なり合わないよう、ずらして使用する。

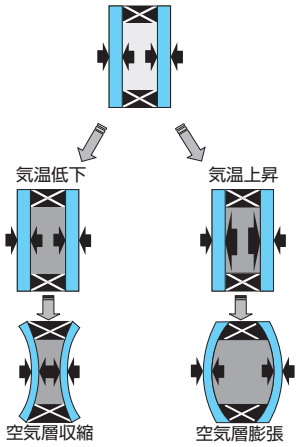


複層ガラスの亀裂について



複層ガラスは、硬いものなどの衝撃、飛来物などの外力によってできるキズや、ごくまれにガラス中に残存する不純物に起因するキズにより、突然亀裂が入る場合があります。
商品ご使用の際は、ガラス面にキズなどがつかないようご注意ください。
ガラスに亀裂が発生した場合は、すみやかに交換してください。
キズがついてしまった場合は、お早めにまずお取り扱いの建築会社、工務店、または販売店にご相談ください。

複層ガラスのゆがみや、こすれについて



複層ガラス表面に反射して写る映像がゆがんで見えたり、ガラス同士がこすれたりすることがありますが、複層ガラスの構造上さけられない現象です。
複層ガラスの中空層は密閉された構造のため、温度や気圧の変化などによって内部の空気の収縮や膨張が起こります。
これにより、ガラスが湾曲しガラスの表面に反射して写る映像がゆがんで見えたり、ガラス同士がこすれたりすることがあります。

Low-E ガラス採用時の携帯電話等の送受信障害について

Low-E ガラスをご使用の場合、携帯電話などの電波機器をご使用時、送受信に障害が出る場合があります。

格子入複層ガラスの音鳴りについて

格子入り複層ガラスは、窓の開閉時の衝撃や振動などにより、複層ガラス内の格子が一時的に振動することで、格子とガラスが接触し、音を発することがあります。

樹脂製商品への殺虫剤などの薬剤散布によるひび割れ、はがれについて

薬剤が樹脂表面に付着すると、ひび割れやはがれが発生するおそれがあります。

ひび割れ・はがれを予防するポイント

- 殺虫剤などの薬剤を樹脂表面に塗布・散布・付着させないように注意する。